



お知らせ

令和6年10月9日

課名	産業労働部観光課 〔「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 実行委員会事務局〕
担当・ 連絡先	山崎、河野（作品制作担当） 直通 080-1895-4575 森岡（広報担当） 内線 5285 直通 086-226-7843

サンドラ・シント氏の作品のためのワークショップ（第2弾）を開催します

「森の芸術祭 晴れの国・岡山」の参加アーティストであるサンドラ・シント氏の作品のために奈義町の子どもたちを対象としたワークショップを開催しますので、お知らせします。

本件に関しては、県政記者クラブ、津山市政記者クラブ及び新見記者クラブに同時にお知らせ
しています。

記

1 概要

奈義町の子どもたちを対象に、奈義町立図書館にあるサンドラ・シント氏の作品を観て、墨や絵の具を使って自由に絵を描いてもらうワークショップを開催します。

少子化対策の「奇跡の町」として称された奈義町において、サンドラ・シント氏が奈義町の子どもたちと共同で新作の壁画を制作するプロジェクトを実施することとしており、会期後、サンドラ・シント氏が子どもたちが描いた絵のイメージを豊かに変容させ、恒久設置の作品として同図書館の談話室の空間を満たします。



前回、令和6年10月6日開催のワークショップの様子

2 日時

【第3回】令和6年10月12日（土） 10:00～12:00

~~【第4回】同日 14:00～16:00 参加申込者なし~~

※第1回、第2回は10月6日（日）に実施済

3 会場

ナギテラス（勝田郡奈義町豊沢314）

参加者は奈義町立図書館談話室にあるサンドラ・シント氏の作品を見学した後、ナギテラスへ移動します。

4 参加者

奈義町の子ども（幼児～小学校6年生）各回10名程度

【参考】

サンドラ・シント

1968年生まれ。現在はサンパウロ在住。

ドローイングを出発点に、建築や彫刻、絵画、インスタレーションなどを作品に取り入れることで言語の限界を探る試みを続けている。銀座メゾンエルメスフォーラムやイタウ・クルトゥラウ（2020年）、ダラス美術館（2019年）、シンシナティ現代美術センター（2017年）などで個展を開催。イニョチン、MAC/USP（サンパウロ大学現代美術館）、サンパウロ州立美術館ピナコテカ、MASP（サンパウロ美術館）、MAM（サンパウロ近代美術館）、MAR（リオ美術館）、ワシントン・ナショナル・ギャラリー、ニューヨーク近代美術館、オルブライト=ノックス美術館、ガリシア現代美術センター、ダラス美術館などに作品が收藏されている。8月末には、7年間に及ぶプロジェクトの成果として、これまでで最大規模となる作品（音響的効果を備えた2点のモニュメンタルなタペストリー）がブラジル・サンパウロの文化芸術劇場（Teatro Cultura Artística）の大コンサートホールでお披露目された。



SandraCinto_@FilipeBerndt